

## 平成30年度高校生の就職慣行に関するアンケート結果

令和2年12月18日  
京都労働局職業安定部訓練室

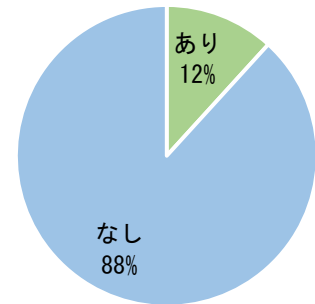
## 1 高校アンケート結果（有効回答85校）

## (1) 平成29年度の複数応募実績について

**○あり 10校（20名）**

○なし 75校

平成29年度の複数応募実績



## (2) 現行の取扱い（当初一人一社、一定期間経過後に複数応募）について

**○現行のままがよい 71校**

○複数応募解禁時期や複数応募数を見直した方がよい 1校（11月1日以降に2社応募可能とする）

## (3) 学校を介さずに生徒が事業所に直接応募することについて

○生徒の自主性を尊重する

21校

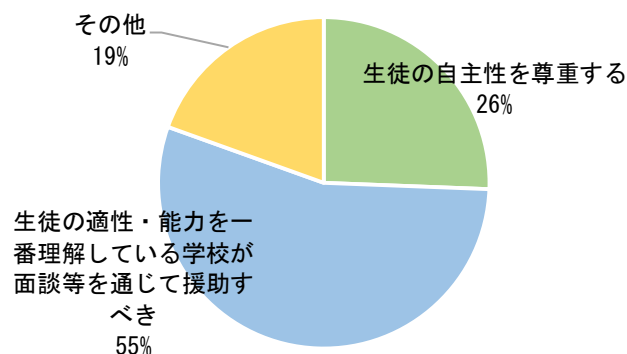
**○生徒の適性・能力を一番理解している学校が面談等を通じて援助すべき 45校**

○その他（以下主なもの）

16校

- ・自主性は尊重すべきであるが、企業によって採用内定後のかかわり方が異なってくるとややこしくなるのはつらい。
- ・生徒の適性・能力を一番理解している学校が面談等を通じて援助すべき。であるが縁故や自己開拓を生徒が望むのであれば家庭の方針を尊重する。
- ・生徒の身分を保証するために一定学校を経由した方が良いと考える。
- ・企業のニーズ・生徒・保護者のニーズを聞けば学校が介在する方が双方のミスマッチを防ぐのに役立つと考える。
- ・生徒と保護者の理解が必要であるという点で、不安に思う。
- ・トラブルが発生した場合に学校がフォローしにくくなる。

学校を介さずに生徒が事業所に直接応募することについて

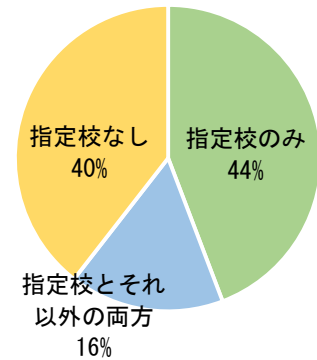


## 2 企業アンケート結果（有効回答191社）

### （1）平成29年度高卒求人の募集対象（未回答1社）

- 指定校のみ 84校
- 指定校とそれ以外の両方 31校
- 指定校なし 75校

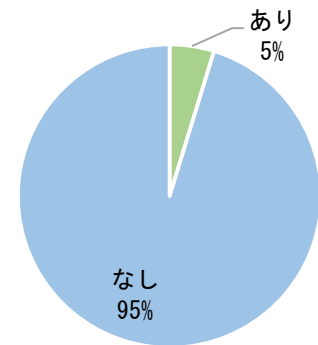
平成29年度の高卒求人の募集対象



### （2）高卒者採用において他の事業所に採用内定になったこと等を理由として、生徒が採用内定を辞退したケースはありましたか。（未回答1社）

- あり 9社
- なし 181社

生徒が採用を辞退したケース



### （3）現行の取扱い（当初一人一社、一定期間経過後に複数応募）について

取扱い	社数
<b>○現行のままがよい</b>	<b>140社</b>
○1人1社のみがよい	12社
○複数応募解禁時期や複数応募の数を見直したほうがよい	8社
○最初（9月16日）から2～3社上限の応募数にしたほうがよい	17社
○最初（9月16日）から応募数に制限を設けないほうがよい	14社

